

経営比較分析表（令和3年度決算）

千葉県 松戸市

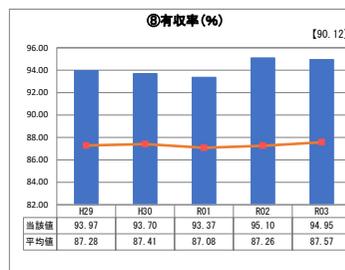
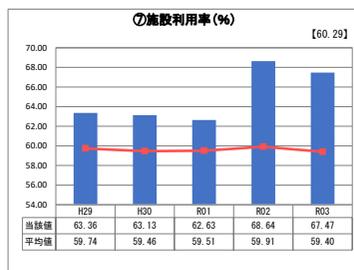
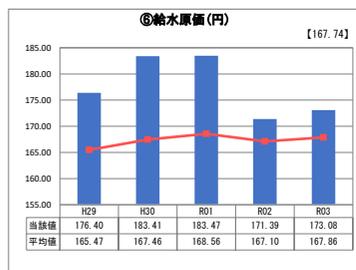
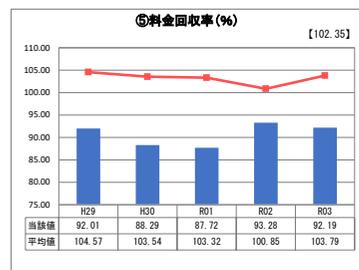
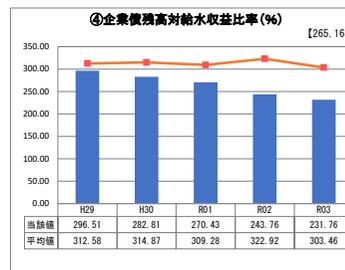
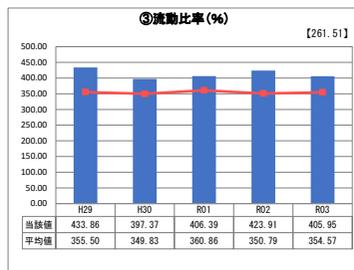
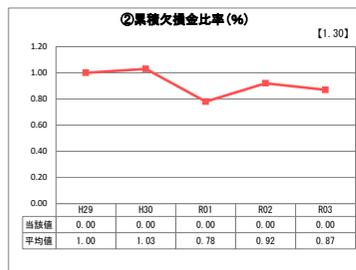
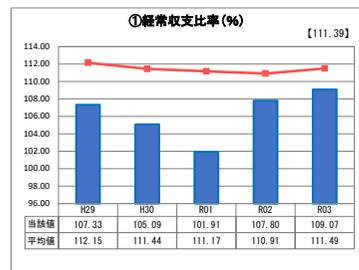
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の状況
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	その他
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)	
-	80.73	16.11	2.761	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
496,899	61.38	8,095.45
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
79,995	8.99	8,898.22

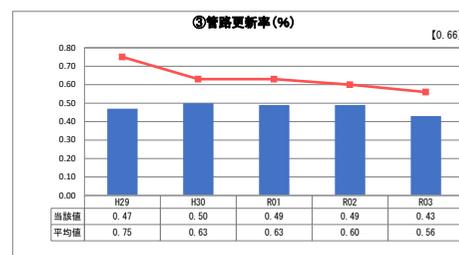
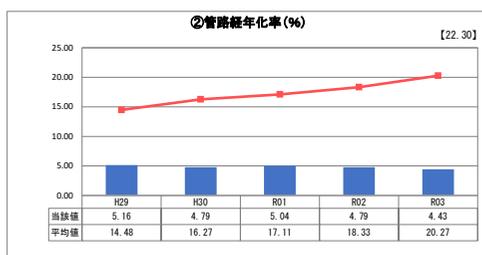
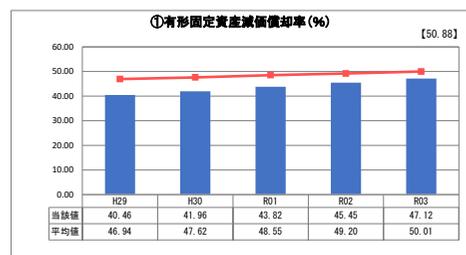
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率及び⑤料金回収率については類似団体平均値より下回る傾向が続いた。令和3年度も①、⑤とも同平均値を下回るもの、①は経常費用の減少により前年度より上昇した。
 ②累積欠損金比率は0%を維持している。
 ③流動比率については、前年度より減少した。類似団体平均値を上回る傾向にあり、短期的な支払い能力に問題はない。一方、④企業債務高対給水収益比率は類似団体平均値を下回っており、この先施設更新の増加が予想される中で、より効率的な資金計画を検討していく必要がある。
 ⑦施設利用率及び⑧有収率は類似団体平均値より高い数値を表している。このことから、施設規模は適切であり、施設の稼働状況が収益に反映されていることがわかる。
 ⑥給水原価については有収水量の減少により前年度より増加した。今後も給水収益は減少傾向にあり、施設の維持管理に係る費用の増加が見込まれるため、引き続き経営改善に努めなければならない。

2. 老朽化の状況について

平成25年度までに石綿管更新事業（老朽管更新事業）を終了しており、②管路経年化率は類似団体平均値と比較して良好な数値が続いている。
 ③管路更新率については、類似団体平均値を下回る状況が続いている。
 ①有形固定資産減価償却率も類似団体平均値を下回っているが、年々増加傾向にあり、老朽化が進んでいる。浄・配水場施設更新を重点的に進める必要がある。

全体総括

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により給水収益が一時的に増加したが、令和3年度は外出機会増加等に伴い減少し、今後も減少傾向が見込まれる。また、経営の健全性（経常収支比率、料金回収率、給水原価）については類似団体平均値より不良な状態となっており、一層の経営改善に努める必要がある。
 今後は老朽化した浄・配水場や管路の更新及び耐震化等に係る費用も見込まれるため、財政収支の見直しを考慮しながら効率的・計画的に施設を整備し、水の安全な供給と健全経営を行っていく。